

# 平成30年度当初予算要求の基本方針

## 国・地方財政の動向

- ◇ 総務省の地方財政収支の仮試算(H29.8月)
  - ・H30地方一般財源→H29と実質的に同水準を確保
  - ・ただし、地方の基金残高が増加していることをもって地方財政に余裕があるかのような議論がされるなど、今後の地方財政対策の動向は不透明
- ◇ 社会保障関係費の増加や公共施設等の老朽化への対応などにより、地方の財政負担の増大は必至

## 今、茨城県に求められること

- ◇ 人口減少・超高齢化時代を迎える中、茨城県の未来を決める今後10年間に思い切った施策を展開すること
- ◇ 諦めず、常識を疑い、自ら変わる勇気を持って挑戦すること
- ◇ 事務事業のゼロベースでの総点検、スクラップ・アンド・ビルドの徹底、「選択と集中」によるメリハリのある財政運営

## 要求の基本方針

### 「活力があり、県民が日本一幸せな県」を創造！

#### I 「新たなビジョン」に基づく施策展開

- 新たな県政ビジョンの策定を速やかに進めるとともに、知事特認枠を設定し、
  - ・「新しい豊かさ」、「新しい安心安全」、「新しい人財育成」、「新しい夢・希望」の4つの「新しい茨城」づくりを強力に推進
- 若手の「発想力」を積極的に活用した施策の創造

#### II あらゆる歳出の大胆な「質の転換」

- 施策の硬直化を徹底して排除し、「新たな発想」による施策を大胆に展開
- 県と市町村等との役割分担の適正化など

#### III 新たな歳入確保対策の推進

- 国庫支出金や外部資金の積極的な活用による、県負担の削減や、より大きな事業量の確保
- 地方創生推進交付金を最大限活用

## 最優先課題への取組み

社会で本当に通用する「人財」を育成するため、子どもの多様性を育む教育の推進

医師確保など、県民の命を守る地域医療の充実

本県の強みを生かした産業育成による質の高い雇用の創出

輝く未来を信じ、4つの基本政策の推進！  
「茨城に住みたい、住み続けたい人」の増加へ！

## 平成30年度要求限度額の設定

- 要求上限を設けない知事特認枠（一般経費）の新設
- 15年連続実施のマイナス・シーリングの取りやめ
- 前例にとらわれないスクラップ・アンド・ビルド

※ この他に、歳入創出・歳出改革等推進特別枠、イノベーションチャレンジ賞の優秀提案への要求枠等を設定